第 5 章 調査③

あはき師養成機関に対する調査

1 書面調査 調査概要

1. 調査目的

視覚障害あはき師の養成機関に対して、ICT関連の指導の現状とニーズを把握するために実施した。

2. 調査対象

視覚障害あはき師の養成を行う機関【※1】 65団体

【※1】主に盲学校（視覚特別支援学校）とあはき師養成の専門校を対象とする。

なお、盲学校（視覚特別支援学校）については、あはきの養成課程がある学校のみを対象とした。

3. 調査方法

- ・調査票の配布によるアンケート調査。
- ・調査票は161ページの墨字版の他に、希望者にはテキスト版を配布した。調査対象者は回答しやすい方法を選択し、郵送またはメール送信で回答を提出した。
- ・あはきの業務において使用する書類を知らない回答者がいることを想定し、162ページの療養費支給申請書を参考資料として添付した。

4. 調査期間

令和3年1月22日～2月10日

5. 回収率

80.0%（52団体／65団体）

6. 回答の傾向

- ・全国から平均的に回答が得られた。

7. 調査結果の掲載方法

- ・設問名と選択肢の一部は改題を行った上で掲載している。
- ・一部の調査結果には、「第6章 考察・分析」で用いたクロス集計の結果を掲載する。

2 書面調査 結果

1. あはき師養成課程の生徒への指導に関する質問

(1) ICT関連の指導を実施しているか

	回答数	%
①実施している	46	88.5
②実施していない	6	11.5
③無回答	0	0.0
全体	52	100.0

(2) あはきの業務で必要となる書類をパソコン等で作成する指導を実施しているか

	回答数	%
①実施している	35	67.3
②実施していない	17	32.7
③無回答	0	0.0
全体	52	100.0

(3) あはきの業務で必要となる書類をパソコン等で作成する指導を実施している科目名はなにか（複数回答）（自由記述を整理）

【対象：1－(2) 選択肢①を選択した回答者 35団体】

	回答数	%
①情報処理関連	27	77.1
②臨床実習関連	13	37.1
③その他【※1】	12	34.2
④無回答	17	32.7
全体	35	100.0

【※1】社会科学概論、自立活動、医療情報、総合演習 等

(4) あはきの業務で必要となる書類を、パソコン等で作成する指導において、指導している書類の内容はなにか(複数回答)
(自由記述を整理)

【対象：1-(2) 選択肢①を選択した回答者 35団体】

	回答数	%
①カルテ	30	88.2
②業務関連の書類	7	20.6
③学内のレポート作成	6	17.6
④広告等の宣伝材料	4	11.8
⑤その他【※1】	2	5.9
⑥無回答	18	34.6
全体	35	100.0

【※1】履歴書 等

2. あはき師養成課程の卒業生に関する質問

(1) あはき業の業務において、必要となる書類作成に対応するため、I C T関連の指導や支援等の相談を受けたことはあるか

	回答数	%
①ある	17	32.2
②ない	35	67.3
③無回答	0	0.0
全体	52	100.0

(2) パソコン等を用いた書類作成に関する相談を受けた場合、入力方法等の指導や支援等を行うことは可能か

	回答数	%
①対応可能	19	36.5
②ノウハウがあれば対応可能	23	44.2
③対応は難しい	9	17.3
④無回答	1	1.9
全体	52	100.0

※「1-(2) あはき業に関する書類作成の指導」とのクロス集計

	①指導あり		②指導なし	
	回答数	%	回答数	%
①対応可能	14	40.0	5	29.4
②ノウハウがあれば対応可能	15	42.9	8	47.1
③対応は難しい	6	17.1	3	17.6
④無回答	0	0.0	1	5.9
全体	35	100.0	17	100.0

3. 視覚障害の生徒の全体に関する質問

(1) ICT関連の指導や支援等を行う上で、難しい点や課題はあるか(複数回答)(自由記述を整理)

	回答数	%
①生徒のスキルの差	23	44.2
②時間がない	12	23.1
③教員の指導力不足	12	23.1
④設備が揃わない	9	17.3
⑤指導方法が未確立	7	13.5
⑥書類自体が難しい	5	9.6
⑦その他【※1】	7	13.5
⑧無回答	5	9.6
全体	52	100.0

【※1】 予算不足 等